

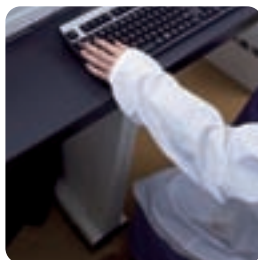
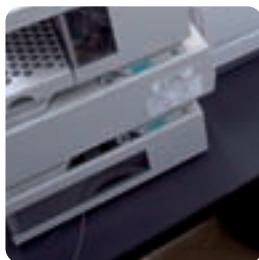
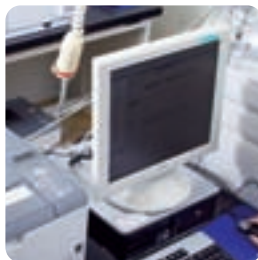


第47期中間報告書

平成22年11月1日から平成23年4月30日まで

人と自然のニーズに応える！

ihara chemical's spirit of challenge is to match human needs with environmental concerns



イハラケミカル工業株式会社
IHARA CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.



株主の皆様へ

ファインケミカル

拝啓、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
このたびの東日本大震災により被災された皆様には、謹んで
お見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心からお祈
り申し上げます。

さて、当社第47期上半期の事業の概況と中間決算につきまして
てご報告申し上げます。

平成23年7月

代表取締役社長 望月 信彦



事業の概況

OUR BUSINESS

□ 売上高	12,936百万円	前年同期比	12.0%増
□ 営業利益	2,018百万円	前年同期比	53.4%増
□ 経常利益	2,222百万円	前年同期比	47.9%増
□ 中間純利益	1,367百万円	前年同期比	56.5%増

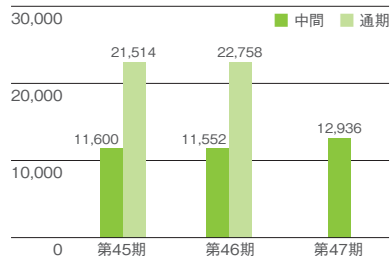
■ 当上半期の取り組み・業績について

収益性の高い海外向けの農薬原体が好調に推移

当上半期におきましては、世界経済の回復を背景に、輸出や生産が増加基調となるなど持ち直しに向かっていました。しかしながら、3月11日に発生した東日本大震災の影響により、生産面を中心に下押し圧力の強い状態にあります。

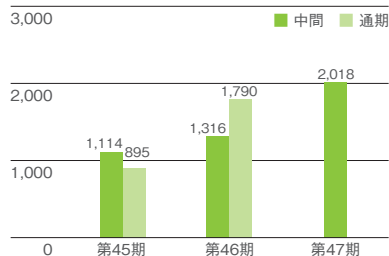
売上高

(単位：百万円)



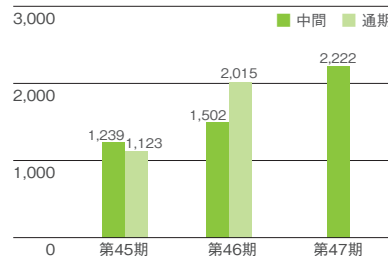
営業利益

(単位：百万円)



経常利益

(単位：百万円)



パイオニアとして独創的な製品をグローバルに供給

■ 中期経営計画

- 中期的視点に立った投資計画の実施
- 新製品の上市に向けての調達手段の最適化
- 顧客への能動的活動の徹底
- 効率的生産と改善によるコストダウン

化学工業界、農業業界におきましても、中東情勢が不安定なことによる原油高や、震災による影響が懸念される状況にあります。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、安定的な生産を維持するとともに中期的視点に立った投資計画の策定、新製品の上市に向けての調達手段の最適化と顧客への能動的活動の徹底による競争力の確保、効率的生産と改善によるコストダウン等収益改善に努めました。

その結果、当上半期における当社グループの連結業績は、売上高129億3千6百万円（前年同期比13億8千4百万円増）、営業利益20億1千8百万円（前年同期比7億2百万円増）、経常利益22億2千2百万円（前年同期比7億2千万円

増）、中間純利益13億6千7百万円（前年同期比4億9千3百万円増）となりました。

■ 通期の見通し・配当方針

年間配当は5円を配当予定

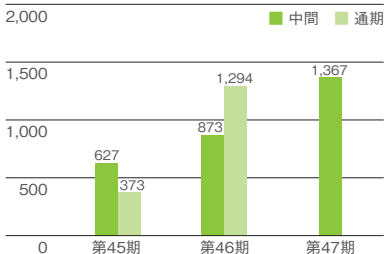
通期の連結業績予想につきましては、売上高250億円、営業利益18億円、経常利益21億円、当期純利益11億5千万円を見込んでおります。

当社は、株主への利益還元を重要な課題の一つと考え、配当政策については、安定配当の継続を基本とし、業績動向および今後の事業展開に備えるための内部留保の充実等を総合的に考慮し決定する方針を採っております。内部留保金につきましては、研究開発投資、設備投資等企業体質の強化と将来の事業展開に向けて効率的に活用し、企業価値の一層の増大に努めてまいります。また、自己株式の取得・活用を通じて株式価値の向上に資するよう努めてまいります。なお、当期の配当につきましては、1株につき5円を予定しております。

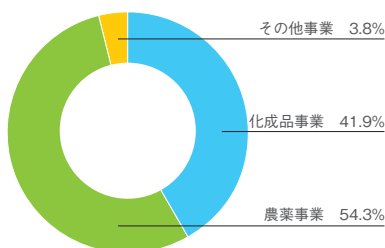
株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■ 中間純利益

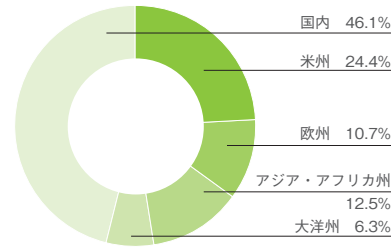
(単位：百万円)



■ 事業別売上高構成比



■ 地域別売上高構成比





農薬事業

国内トップの農薬専門メーカークミアイ化学工業株式会社へ農薬原体提供と新剤を共同開発

事業内容 農薬原体及び農薬関連剤の製造・販売

売上高 7,032百万円 **営業利益** 1,787百万円

除草剤、殺菌剤、その他、農薬原料を主とした農薬事業につきましては、輸出の棉花用除草剤、水稲用除草剤及び畑作用除草剤の増加等により、当事業の売上高は70億3千2百万円、営業利益は17億8千7百万円となりました。

農薬原体

稲・棉花用除草剤、稲・果樹・そ菜・園芸用殺菌剤等の原体を製造、販売しております。当社が製造し、主要株主であるクミアイ化学工業株式会社及び同社の子会社である尾道クミカ工業株式会社に販売しております。また、製品の主要原材料を、イハラニッケイ化学工業株式会社、ケイ・アイ化成株式会社より購入しております。研究開発につきましては、クミアイ化学工業株式会社と共同で進めており、両社で共同出資した関連会社株式会社ケイ・アイ研究所において新規化合物の創製と評価を行っております。

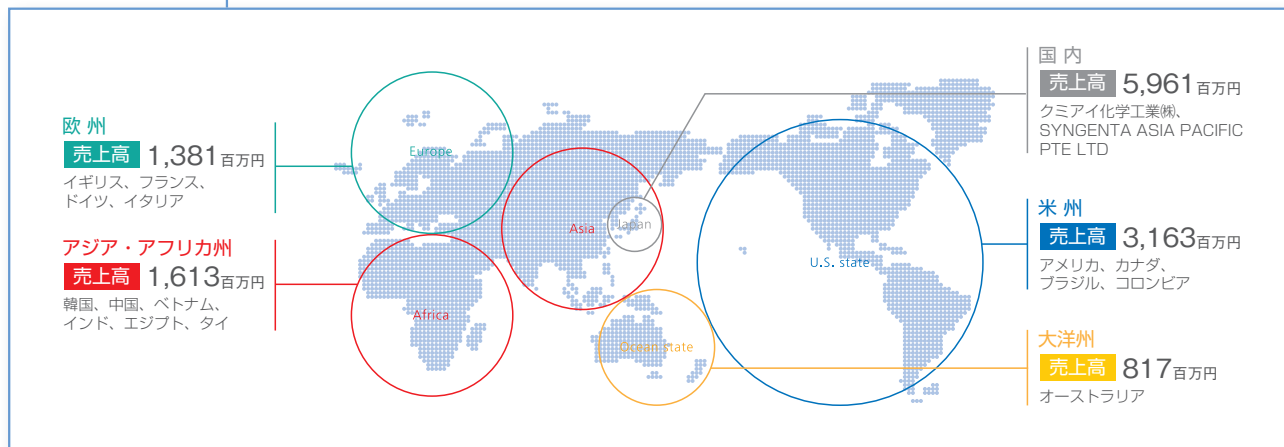


農薬関連剤

他社製品の農薬原体及び農薬原料につきましては、当社で製造しております。他社農薬原体につきましては、独自の製造方法を自社で研究しております。

海外売上高

世界に寄与する優れた製品群。国内だけでなく、グローバルに事業を展開しています。



化成品事業

新しい中間体を開発しグローバルに供給、アミン硬化剤は世界のトップメーカー

事業内容 **クロルトルエン系化学品、精密化学品、産業薬品の製造・販売**

売上高 **5,416**百万円 営業利益 **637**百万円

クロルトルエン系化学品、精密化学品、産業薬品を主とした化成品事業につきましては、樹脂原料の好調と国内販売向けのアミン類の回復により、当事業の売上高は54億1千6百万円、営業利益は6億3千7百万円となりました。

クロルトルエン系化学品

有機中間体を製造、販売しております。当社が製造、販売するほか、連結子会社イハラニッケイ化学工業株式会社、ケイ・アイ化成株式会社が製造、販売しております。また、一部をイハラニッケイ化学工業株式会社、ケイ・アイ化成株式会社に生産を委託し、商品購入販売をしております。連結子会社株式会社ネップから原材料の一部を購入し、製品・商品を同社並びに関連会社ケイ・アイケミカルU.S.A.Inc.、ケイ・アイケミカルヨーロッパS.A.を通じて販売しております。



精密化学品

医薬中間体、ウレタン用架橋剤、ポリウレタ樹脂原料等のアミン類、樹脂原料を製造、販売しております。当社が製造、販売するほか、連結子会社ケイ・アイ化成株式会社が製造、販売を行っております。関連会社アイシーケイ株式会社は、当社製品を原材料として使用し製造、販売をしております。



産業薬品

防腐剤、臭素原体等の製造、販売をしております。ケイ・アイ化成株式会社が製造、販売しており、製品の一部は、株式会社ネップを通じて販売しております。

その他事業

事業内容 **バイオ製品、公害防止薬品・機械等の製造・販売**

売上高 **487**百万円 営業利益 **20**百万円

その他事業につきましては、売上高は4億8千7百万円、営業利益は2千万円となりました。

ファフィア酵母（飼料添加剤）はケイ・アイ化成株式会社が製造、販売しております。工業薬品類等は株式会社ネップが製造、販売しております。

IHARA

トピックス

topics

更なる事業の成長・企業価値向上に向けて行った当社の取り組みをご紹介します。

■ 新剤の開発・販売



当社は、クミアイ化学工業株式会社と共に、新農薬の創製研究並びに開発を共同で進めております。現在、経営の大きな柱であるノミニー、ステイプルといった農薬もこの枠組みの中から生まれて来ました。それに続き、昨年末に画期的な水稻用除草剤であるピリミスルファンを有効成分とする各種製品が上市され、あらたな柱として期待されます。更に、新剤のパイプラインには、新規の園芸用殺菌剤であるピリベンカルブやトウモロコシ・大豆・麦などを対象とする畑作用除草剤ピロキサスルホンが続いており、現在、早期の商品化に向け、農薬登録を申請しております。引き続き、当社は、世界の農業に貢献する為、社会ニーズにあった新規農薬の研究開発を進めて参ります。

■ 上海群力化工有限公司と資本提携

当社は、平成23年3月、上海群力化工有限公司株式18.18%の当社分登記を完了しました。この資本提携により、同社をグローバル市場、特にアジア市場における農薬関連並びにその他化学関連製品・原材料の重要調達拠点と位置づけることにより、当社として従来以上の競争力のある安定調達のもと、「顧客価値」の実現に向けた取り組みを行って参ります。



■ コンプライアンス強化



当社では、「コンプライアンス行動指針」を制定し、法令、社内規則、企業倫理の遵守によるコンプライアンスの推進に努め、社員教育として外部講師による講習会、テキスト学習、eラーニング、ビデオ視聴、グループ討議等を実施しております。本年は「事業会社における営業秘密、インサイダー情報を巡る不祥事と実務対応」をテーマに、児島弁護士（森・濱田松本法律事務所）を講師に迎えて、全従業員を対象に講演会を開催致しました。今後も継続的なコンプライアンス教育、講習会によるコンプライアンス意識、危機意識の維持・向上を図り、企業リスク低減による企業価値の向上を推進して参ります。



連結財務諸表（要旨）

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	当中間期	前期
	平成23年4月30日現在	平成22年10月31日現在
資産の部		
流動資産	24,006	22,926
固定資産	19,560	19,920
有形固定資産	9,608	10,047
無形固定資産	47	50
投資その他の資産	9,904	9,822
資産合計	43,566	42,847
負債の部		
流動負債	7,491	8,063
固定負債	2,379	2,364
負債合計	9,870	10,428
純資産の部		
株主資本	29,354	28,214
評価・換算差額等	1,254	1,224
少数株主持分	3,087	2,979
純資産合計	33,696	32,419
負債及び純資産合計	43,566	42,847

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当中間期	前中間期
	平成22年11月1日から平成23年4月30日まで	平成21年11月1日から平成22年4月30日まで
売上高	12,936	11,552
売上原価	8,825	8,205
売上総利益	4,111	3,347
販売費及び一般管理費	2,093	2,031
営業利益	2,018	1,316
営業外収益	211	234
営業外費用	7	48
経常利益	2,222	1,502
特別利益	84	96
特別損失	14	117
税金等調整前中間純利益	2,292	1,481
法人税等	788	497
少数株主利益	136	110
中間純利益	1,367	873

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当中間期	前中間期
	平成22年11月1日から平成23年4月30日まで	平成21年11月1日から平成22年4月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	660	2,904
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 917	△ 1,563
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 286	△ 336
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△ 0
現金及び現金同等物の増加額（△は減少）	△ 542	1,004
現金及び現金同等物の期首残高	6,751	5,081
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,208	6,085

CHECK POINT ①

○ 経営成績

当中間期は畑作用および水稲用除草剤の輸出増加を主要因に、売上高は前年同期比12%増の129億3千6百万円、営業利益は同53%増の20億1千8百万円となりました。

CHECK POINT ②

○ 財政状態

当中間期末の総資産残高は、前期末比7億1千9百万円増の435億6千6百万円、純資産残高は同12億7千7百万円増の336億9千6百万円となりました。

CHECK POINT ③

○ キャッシュ・フローの状況

当中間期売上高の増加に伴い売上債権が増加したため、これを主要因として営業活動によるキャッシュ・フローは前年同期比77%減の6億6千万円となり、現金及び現金同等物の減少額は5億4千2百万円となりました。



会社の概況 (平成23年4月30日現在)

COMPANY INFORMATION

商号	イハラケミカル工業株式会社
設立	昭和40年11月24日
従業員数	213名
資本金	2,764,559,399円
事業所	
本社	東京都台東区池之端一丁目4番26号
静岡工場	静岡県富士市中之郷1800番地
研究所	静岡県富士市中之郷2256番地
海外駐在員事務所	日本庵原化学工業株式会社上海代表処 (中国)
役員	
取締役社長 (代表取締役)	望月 信彦
専務取締役 (代表取締役)	杉山 辰雄
常務取締役	余田 比呂志
取締役	丸山 春樹
取締役	早川 正人
取締役	吉田 文隆
取締役	井川 照彦
取締役	上田 一誠
取締役	石原 英助
監査役 (常勤)	流石 正
監査役	浦田 善弘
監査役	田村 駿
監査役	高木 敬一郎

(注) 監査役のうち浦田善弘、田村駿の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

連結子会社	イハラニッケイ化学工業株式会社 (静岡県静岡市清水区) ケイ・アイ化成株式会社 (静岡県磐田市) 株式会社ネップ (東京都台東区)
持分法適用会社	イハラサービス株式会社 (静岡県富士市) イハラ建成交渉株式会社 (静岡県静岡市清水区) アイシーケイ株式会社 (東京都足立区) ケイ・アイケミカルU.S.A. Inc. (米国) ケイ・アイケミカルヨーロッパS.A. (ベルギー)



株式の概況 (平成23年4月30日現在)

STOCK INFORMATION

発行可能株式総数	99,500,000株	
発行済株式数	51,849,917株	
株主数	6,561名	
大株主 (上位10名)		
株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
クミアイ化学工業株式会社	6,250	12.06
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,345	4.52
共栄火災海上保険株式会社	2,149	4.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,799	3.47
農林中央金庫	1,504	2.90
スルガ銀行株式会社	1,191	2.30
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	861	1.66
日本生命保険相互会社	750	1.45
株式会社えいらく	742	1.43
日本曹達株式会社	729	1.41

■ 株主メモ

事業年度	毎年11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会	毎年1月開催
基準日	定時株主総会・期末配当金 毎年10月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告方法	電子公告 当社のホームページに掲載する。 (http://www.iharachem.co.jp) なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、東京都内において発行する日本経済新聞に掲載する。
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号
および特別口座の口座管理機関	住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲二丁目3番1号
事務取扱場所	住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10号
(郵便物送付先)	住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-176-417
(ホームページアドレス)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html



イハラケミカル工業株式会社
IHARA CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
URL : <http://www.iharachem.co.jp>

